

JVC

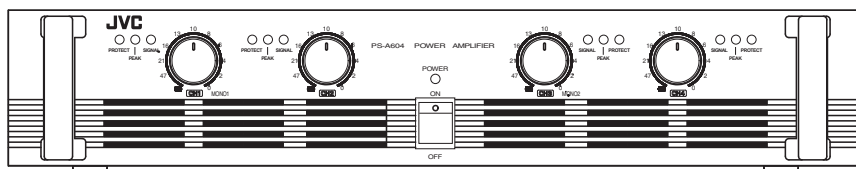
お客様へ:

本書には、設置に関する記載が
されておりますが、設置は必ず
専門の業者にお任せください。

パワーアンプ

型名 **PS-A604**

取扱説明書



ご購入ありがとうございます。

ご使用前にこの「取扱説明書」をお読みのうえ、正しくお使い
ください。

特に安全上のご注意(3~5ページ)は必ずお読みいただき、
安全にお使いください。

お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要な
ときにお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。ご購入の際は本機
に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と
保証書に記載されている番号が一致しているかお確かめくだ
さい。

特長

60 W × 4ch 出力のパワーアンプ

定格出力 4 Ω 負荷時 60 W × 4ch、8 Ω 負荷時 40 W × 4ch 出力が可能です。

MONO モード動作対応

MONO モード動作により 120 W × 2ch (8 Ω 負荷) の使用も可能です。

入力並列接続可能

キャノンタイプ (XLR-3-31 相当)、φ6.3 複式フォンジャック共用タイプの入力端子を装備しています。

業務用として各種保護回路を搭載

- 温度保護回路 : 本機の内部温度を監視し、温度によって出力を遮断。温度上昇によるトラブルを防ぎます。
- 過電流保護回路 : 過負荷・出力短絡などによるオーバードライブを防ぎます。
- DC 電圧出力保護回路 : アンプ出力からの DC 電圧を検出し、出力を遮断。スピーカーのトラブルを防ぎます。
- ミュート回路 : 電源スイッチ ON-OFF 時のポップノイズを防ぎます。

シグナルインジケータを装備

動作状態が一目で監視できる SIGNAL と PEAK インジケータを採用しています。

もくじ

はじめに

特長	2
もくじ	2
安全上のご注意	3
正しくお使いいただくためのご注意	5
各部の名称とはたらき	7
フロントパネル	7
リアパネル	8

接続 / 設置 (設置業者さま向け)


接続のしかた	9
各種接続について	9
接続ケーブルについて	9
スピーカー接続について	10
ラックへの組み込みについて	12
設置上のご注意	12
ラックマウント補助金具を使用して取り付ける	13
困ったときは	13

その他

ブロックダイアグラム	14
保証とアフターサービス	15
仕様	15

この取扱説明書の見かた

■ 本文中の記号の見かた

- ご注意** : 操作上の注意が書かれています。
- メモ** : 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。
-  : 参考ページや参照項目を示しています。



■ 本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では TM、®、©などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

安全上のご注意

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

	警告	この表示(文字含む)を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています
	注意	この表示(文字含む)を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています

絵表示の説明

●注意(警告を含む)が必要なことを示す記号

			
一般的注意	感電注意	手をはさまれないよう注意	アース線をつなぐ

●してはいけない行為(禁止行為)を示す記号










			
禁止	水場での使用禁止	ぬれ手禁止	接触禁止

	
分解禁止	水ぬれ禁止





●必ずしてほしい行為(強制・指示行為)を示す記号






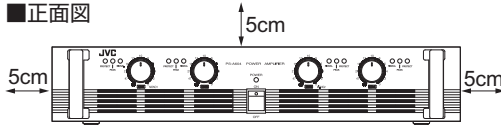
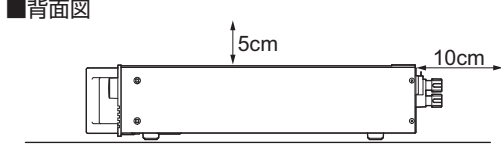





	
電源プラグを抜く	一般的指示

警告












<p>■ 万一、次のような異常が発生したときは、そのまま使用しないでください。火災や感電の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき ● 画面が映らない、音が出ないなどの故障のとき ● 内部に水や物が入ってしまったとき ● 落としたり、キャビネットが破損したとき ● 電源コードが傷んだとき(芯線の露出、断線など) <p>このようなときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出ているときは、止まったのを確かめてから販売店に修理を依頼してください。お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。</p>	 
<p>■ 不安定な場所に置かないでください。ぐらついている台の上や傾いた所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがをする原因となります。</p>	
<p>■ 本機を改造しないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店に依頼してください。</p>	 
<p>■ 表示された電源電圧(交流 100 V)以外で使用しないでください。火災や感電の原因となります。</p>	
<p>■ 通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり火災の原因となります。次のことに注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 押し入れ、本箱など狭いところに入れない ● じゅうたんや布団の上に置かない ● テーブルクロスなどを掛けない ● 横倒し、逆さまにしない 	
<p>■ 内部に物を入れないでください。通風孔やカセット出し入れ口などから、金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。</p>	
<p>■ 本機の設置は、技術を必要とします。設置工事は必ず、お買い上げ販売店に依頼してください。</p>	

<次のページへつづく>

 警告	
<p>■ この機器の上に水の入ったもの（花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）を置かないでください 機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。</p>	
<p>■ 風呂場など水のある場所で使わないでください 機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。</p>	
<p>■ 雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないでください 感電の原因となります。</p>	
<p>■ 電源コードを傷つけないでください 電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードを加工しない ● 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない ● 電源コードの上に機器本体や重いものをのせない ● 電源コードを熱器具に近づけない 	
<p>■ 電源プラグやコンセントにほこりや金属が付着したまま使用しないでください ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。半年に一度はプラグを抜いて乾いた布でふいてください。</p>	
<p>■ アース線を接続する アース線を接続しないと感電の原因となることがあります。 アース接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行なってください。また、アース線ははずす場合は必ず電源プラグを抜いたあとに行なってください。</p>	
<p>■ 本機の上に火のついたものを置かない 火のついたローソクなどを置くと、火災の原因となります。</p>	

 注意	
<p>■ 次のような場所に置かないでください 火災や感電の原因となることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 湿気やほこりの多い所 ● 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所 ● 熱器具の近くなど ● 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たって温度が上がる所 ● 窓ぎわなど水滴が発生しやすい所 	 
<p>■ この機器の上に重い物を置かないでください 重いものや本体からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり落ちたりして、けがの原因となることがあります。</p>	
<p>■ この機器の上に乗らない、ぶら下がらないでください 倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。</p>	
<p>■ 棚置きで使用する場合、機器の周囲に隙間を取ってください 本機を設置するときは下記のように設置スペースを確保してください。（電気用品安全法による） 上面：5 cm 以上、側面：5 cm 以上、背面：10 cm 以上</p> <p>■ 正面図</p>  <p>■ 背面図</p> 	
<p>■ 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください 安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。</p>	
<p>■ 2～3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼してください 内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。</p>	
<p>■ お手入れするときは電源プラグを抜いてください 感電の原因となることがあります。</p>	
<p>■ 音量を下げたから、電源を入れてください 音量が上がっていると、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。</p>	

⚠ 注意

<p>■ 電源プラグはコードの部分を持って抜かないでください 電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。プラグ部分を持って抜いてください。</p>	
<p>■ めれた手で電源プラグを抜き差ししないでください 感電の原因となることがあります。</p>	
<p>■ 移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずしてください 接続したまま移動すると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。</p>	
<p>■ 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください 発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。</p>	
<p>■ 長時間、音がはずんだ状態で使わないでください スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。</p>	
<p>■ この機器の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手に届くところに置かないでください 頭からかぶると窒息の原因となります。</p>	
<p>■ テレビ、オーディオ機器、ビデオ機器、ゲーム機、スピーカーなどの機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明書に従って接続してください 接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。</p>	
<p>■ 設置後は、必ずポリ袋を回収してください</p>	
<p>■ ハイインピーダンススピーカーを接続しないでください 火災や故障の原因となります。ハイインピーダンスユニットの追加もできません。</p>	
<p>■ 電源プラグが容易に抜き差しできる空間を設ける 機器はコンセントに容易に手が届く位置に設置し、異常が起きた場合すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>	 

正しくお使いいただくため のご注意

本機は、非常用放送設備としては使用できません。

保管および使用場所

- 次のような場所に置かない
誤動作や故障の原因となります。
 - 許容動作温度 (0 °C ~ 40 °C) 範囲外の暑いところや寒いところ
 - 許容動作湿度 (10 %RH ~ 90 %RH) 範囲外の湿気の多いところ
 - 変圧器やモーターなど強い磁気を発生するところ
 - トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近く
 - ほこりや砂の多いところ
 - 振動の激しいところ
 - 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
 - 厨房など蒸気や油分の多いところ
 - 放射線や X 線、および腐食性ガスの発生するところ

取り扱いについて

- 本機の放熱が不十分になると故障の原因となります。本機周辺の通風を妨げないようにしてください。
- 本機の上に水の入ったもの (花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など) を置かない
機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。
- オプション機器の組み込みや接続には、技術を必要とする場合があります。
オプション機器の組み込みや接続を誤ると、感電や火災の原因となることがあります。必ずお買い上げ販売店にご依頼ください。
- 電力線と入力信号線はできるだけ離して接続してください。
- 過大入力による連続使用は、破損の原因となります。頻りに PEAK ランプが点灯する状態で使用しないでください。
- 運用状態によって、本体ケースが熱くなることがあります。運用中や電源を切った直後はさわらないでください。
- 横倒しや逆さまに設置しないでください。安定した水平な場所に置いて使用してください。

移動について

- 移動するときは接続コード類をはずす
移動するときは、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
- 本機を箱から出すときや、移動の際に持ち運ぶときは、誤って落とさないよう、十分に注意して取り扱ってください。

<次のページへつづく>

正しくお使いいただくための ご注意（つづき）

お手入れについて

- お手入れするときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機は柔らかい布でふいてください。シンナーやベンジンでふくと、表面がとけたり、くもったりします。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけてふき、あとでからぶきしてください。
- 殺虫剤など揮発性の薬品をかけたり、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤（かそざい）の働きによって変質したり、塗装がはげるなどの原因となります。

省エネについて

- 長時間使用しないときは、安全および節電のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

その他

- 落雷などにより電源電圧が変動した場合、システム保護のため電源電圧が安定するまで操作できないことがあります。
- 本機および本機に接続したケーブルを強い電波や磁気の発生するところ（例、ラジオ、テレビ、変圧器、モニターなどの近く）で使用すると、本機の動作に影響が出ることがあります。

ミュート動作について

- 電源を入れてから3秒～6秒間は音が出ませんが、これはミュート動作のためで、故障ではありません。

電源の投入について

- すべての結線が終了してから本機の電源を入れてください。接続コードの抜き差しは電源を切ってから行なってください。
- 周辺機器と組み合わせて使用する場合、本機の電源は最後に入れてください。また、電源を切るときは本機の電源を最初に切ってください。ノイズなどによるスピーカーの破損を防止できます。

設置場所について

- 本機の上に音声信号レベルの小さい機器を設置すると、雑音が出ることがあります。CDプレーヤー、テープデッキ、グラフィックイコライザーなどはできるだけ離して設置してください。

バランスケーブルの使用について

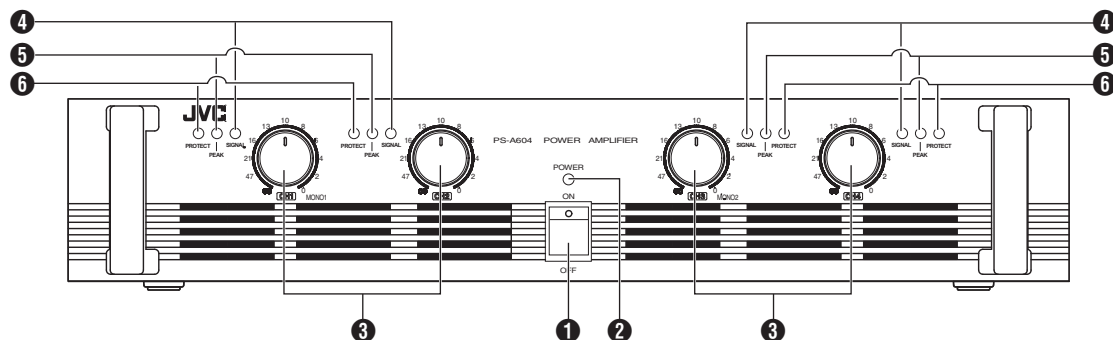
- アンバランス（不平衡）タイプのケーブルを5 m以上延長すると、電源からの誘導雑音（ブーンという音）や調光ノイズなどの影響を受けやすくなります。ケーブルを延長する場合は、バランス（平衡）タイプのケーブルを使用してください。

接続について

- スピーカー出力端子への接続は、電源を切ってから行なってください。
- 過負荷は故障の原因となります。必ず、指定のインピーダンスになるようにシステムを設計してください。

各部の名称とはたらき

フロントパネル



① 電源スイッチ

電源 ON/OFF スイッチです。

電源を入れると、電源表示ランプ（緑）② およびプロテクト表示ランプ（赤）⑥ が点灯します。その後、プロテクト表示ランプが消灯すると、運用可能な状態になります。

② [POWER] 電源表示ランプ

電源を入れると緑色に点灯します。

③ 入力アッテネーター

音量を設定するときに使用します。

ピーク表示ランプ（赤）⑤ が点灯しないように、音量を設定し、使用してください。

クリックポジション付きです。

メモ： _____

- スピーカーを接続しないチャンネルは、入力アッテネーターを必ず“∞”の位置（絞りきり）に設定してください。
- MONO モード（[P.8](#) ページ）で使用する場合は、MONO1 モードのときは CH2、MONO2 モードのときは CH4 の入力アッテネーターを必ず“0”の位置（時計方向に回しきり）に設定してください。

④ [SIGNAL] シグナル表示ランプ

各チャンネルの出力レベルを表示します。

定格出力のおよそ -20 dB 以上になると、緑色に点灯します。

⑤ [PEAK] ピーク表示ランプ

各チャンネルの出力レベルを表示します。

出力レベルが定格出力付近になると、赤色に点灯します。

インジケータが点灯しないよう、入力レベルまたは入力レベルアッテネーターを調節し、レベルを下げてください。

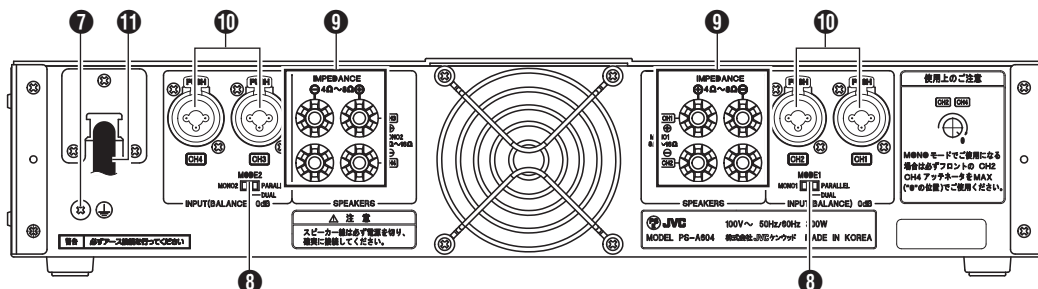
⑥ [PROTECT] プロテクト表示ランプ

電源スイッチ“ON”で2～6秒点灯（赤）します。また、保護回路が動作し、出力が遮断されたときにも点灯します。

“困ったときは”（[P.13](#) ページ）の処置を行っても消灯しない場合は、異常が発生している可能性がありますので、お買い上げ販売店または、最寄りのご相談窓口にご相談ください。

各部の名称とはたらき (つづき)

リアパネル



7 アース端子

アース線を接続します。

警告

アース線の接続は必ず、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行なってください。また、アース線は必ず電源プラグをコンセントから抜いたあとに行なってください

8 [MODE1][MODE2] 動作モード切換スイッチ MODE1 (PARALLEL ⇄ DUAL ⇄ MONO1) MODE2 (PARALLEL ⇄ DUAL ⇄ MONO2)

- MONO モード：
2つのアンプを対で使用し、より大きい出力を得られるモードです。
接続例 (10 ページ 「3 2CH 入力 2CH 出力」)
- DUAL モード：
4チャンネルすべてが独立して動作するモードです。
接続例 (10 ページ 「1 4CH 入力 4CH 出力」)
- PARALLEL モード：
1つの入力信号を2つのチャンネルに同時出力するモードです。
接続例 (10 ページ 「2 1CH 入力 4CH 出力」)

メモ：

- CH1 と CH2 に同じ音を出したい場合は、MODE1 スイッチを“PARALLEL”の位置にします。CH3 と CH4 に同じ音を出したい場合は、MODE2 スイッチを“PARALLEL”の位置に切り換えてください。
- MODE1 スイッチを“MONO1”または、“PARALLEL”に設定した場合は、CH2 端子には CH1 信号が出力されるため、CH2 端子には信号を入力しないでください。
- MODE2 スイッチを“MONO2”または、“PARALLEL”に設定した場合は、CH4 端子には CH3 信号が出力されるため、CH4 端子には信号を入力しないでください。

9 スピーカー出力端子

- 音声信号の出力端子です。
- 接続できるスピーカーのインピーダンスは、MODE スイッチの設定によって下記ようになります。
“DUAL” または “PARALLEL” に設定した場合：
4 Ω ~ 8 Ω
“MONO1” または “MONO2” に設定した場合：
8 Ω ~ 16 Ω
- 2チャンネルアンプとして MONO モードで動作させる場合は、「スピーカー接続について」をご覧ください。(10 ページ)

ご注意：

- 出力回路の並列接続はできません。
- 指定されたインピーダンス以外のスピーカーを接続しないでください。火災・故障の原因となることがあります。また、本来の性能が得られません。
- 接続は、電源を切ってから行なってください。

10 [INPUT(BAL)] 入力端子

- 音声信号の入力端子です。
- XLR タイプコネクタ (XLR-3-31 相当) または φ6.3 複式フォンジャックを使って接続します。
(CH1/MONO1、CH2、CH3/MONO2、CH4：電子平衡+0 dB 入力インピーダンス 20 kΩ 以上です。)
- 2チャンネルアンプとしてご使用になる場合は、CH1 側、CH3 側に接続してください。CH2、CH4 側に接続しても動作しません。

ご注意：

- 接続は電源を切ってから行なってください。ノイズなどによって、スピーカーが破損する恐れがあります。

11 電源コード

必ず商用電源 AC 100 V に接続してください。

接続のしかた

各種接続について

本機の接続については下表を参考にしてください。

	MODE	MODE SW		入力端子				入力アッテネーター				スピーカー出力端子 / 適合インピーダンス			
		MODE1	MODE2	CH1	CH2	CH3	CH4	CH1	CH2	CH3	CH4	CH1	CH2	CH3	CH4
①	4CH入力/ 4CH出力	DUAL	DUAL	信号 A	信号 B	信号 C	信号 D	VAR	VAR	VAR	VAR	CH1+⇔CH1- スピーカー 1 4Ω~8Ω (信号 A)	CH2+⇔CH2- スピーカー 2 4Ω~8Ω (信号 B)	CH3+⇔CH3- スピーカー 3 4Ω~8Ω (信号 C)	CH4+⇔CH4- スピーカー 4 4Ω~8Ω (信号 D)
②	1CH入力/ 4CH出力	PARALLEL	PARALLEL	信号 A	CH3 と接続	CH2 と接続	未接続	VAR	VAR	VAR	VAR	CH1+⇔CH1- スピーカー 1 4Ω~8Ω (信号 A)	CH2+⇔CH2- スピーカー 2 4Ω~8Ω (信号 B)	CH3+⇔CH3- スピーカー 3 4Ω~8Ω (信号 A)	CH4+⇔CH4- スピーカー 4 4Ω~8Ω (信号 A)
③	2CH入力/ 2CH出力	MONO1	MONO2	信号 A	未接続	信号 B	未接続	VAR	MAX	VAR	MAX	CH1+⇔CH2+ スピーカー 1 8Ω~16Ω (信号 A)		CH3+⇔CH4+ スピーカー 2 8Ω~16Ω (信号 B)	
④	1CH入力/ 2CH出力	MONO1	MONO2	信号 A	CH3 と接続	CH2 と接続	未接続	VAR	MAX	MAX	MAX	CH1+⇔CH2+ スピーカー 1 8Ω~16Ω (信号 A)		CH4+⇔CH3+ スピーカー 2 8Ω~16Ω (信号 A)	
⑤	3CH入力/ 3CH出力 (1)	DUAL	MONO2	信号 A	信号 B	信号 C	未接続	VAR	VAR	VAR	MAX	CH1+⇔CH1- スピーカー 1 4Ω~8Ω (信号 A)	CH2+⇔CH2- スピーカー 2 4Ω~8Ω (信号 B)	CH3+⇔CH4+ スピーカー 3 8Ω~16Ω (信号 C)	
⑥	3CH入力/ 3CH出力 (2)	MONO1	DUAL	信号 A	未接続	信号 B	信号 C	VAR	MAX	VAR	VAR	CH1+⇔CH2+ スピーカー 1 8Ω~16Ω (信号 A)		CH3+⇔CH3- スピーカー 2 4Ω~8Ω (信号 B)	CH4+⇔CH4- スピーカー 3 4Ω~8Ω (信号 C)
⑦	1CH入力/ 3CH出力 (1)	PARALLEL	MONO2	信号 A	CH3 と接続	CH2 と接続	未接続	VAR	VAR	VAR	MAX	CH1+⇔CH1- スピーカー 1 4Ω~8Ω (信号 A)	CH2+⇔CH2- スピーカー 2 4Ω~8Ω (信号 A)	CH3+⇔CH4+ スピーカー 3 8Ω~16Ω (信号 A)	
⑧	1CH入力/ 3CH出力 (2)	MONO1	PARALLEL	CH4 と接続	未接続	信号 A	CH1 と接続	VAR	MAX	VAR	VAR	CH1+⇔CH2+ スピーカー 1 8Ω~16Ω (信号 A)		CH3+⇔CH3- スピーカー 2 4Ω~8Ω (信号 A)	CH4+⇔CH4- スピーカー 3 4Ω~8Ω (信号 A)

※“VAR”は、入力アッテネーターで音量を可変することができます。
 ※“MAX”は、入力アッテネーターを0の位置(MAX)に固定する必要があります。

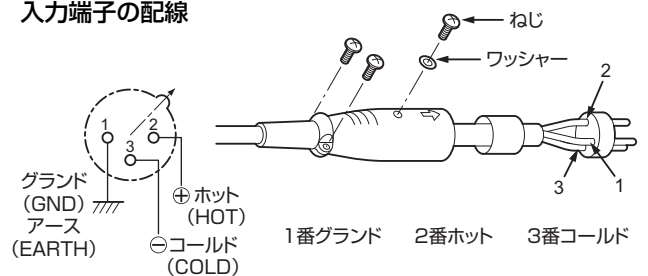
ご注意:

- 上表の接続例④でのCH3とCH4の接続について、CH2出力が逆相となるため、必ず表の指示に従い、スピーカーケーブルの+、-を接続してください。

● スピーカー出力端子での表の見かたについて

CH1+⇔CH1- スピーカー 1 4Ω~8Ω (信号 A)	【例】 スピーカー 1の+ケーブルをCH1の+端子に、 スピーカー 1の-ケーブルをCH1の-端子に接 続したときに、信号 Aが出力されます。 スピーカーは、4Ωから8Ωのものをご使用く ださい
---	--

入力端子の配線



接続ケーブルについて

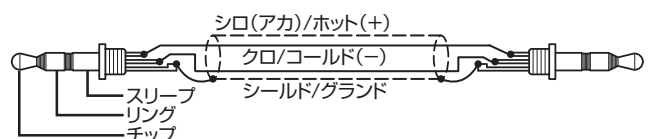
入力コネクタの配線は次のとおりになります。

● XLR タイプコネクタ (XLR-3-31 相当)

- 1 番 : グランド
- 2 番 : ホット
- 3 番 : コールド

- 接続ケーブルを製作する場合は、下図を参考にしてください。

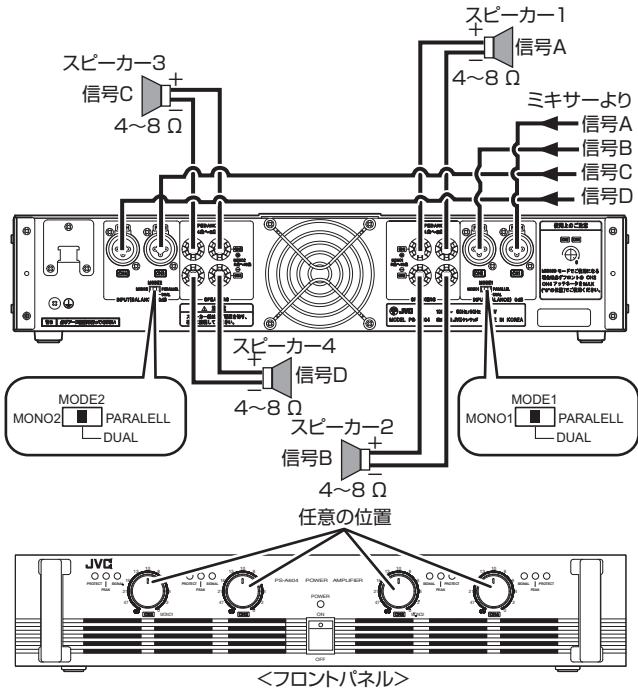
平衡タイプ:Φ6.3複式フォンプラグ



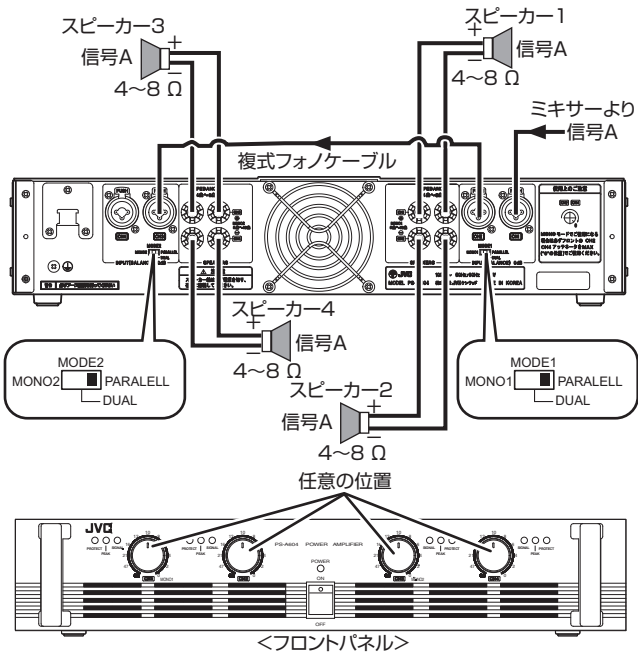
接続のしかた (つづき)

スピーカー接続について

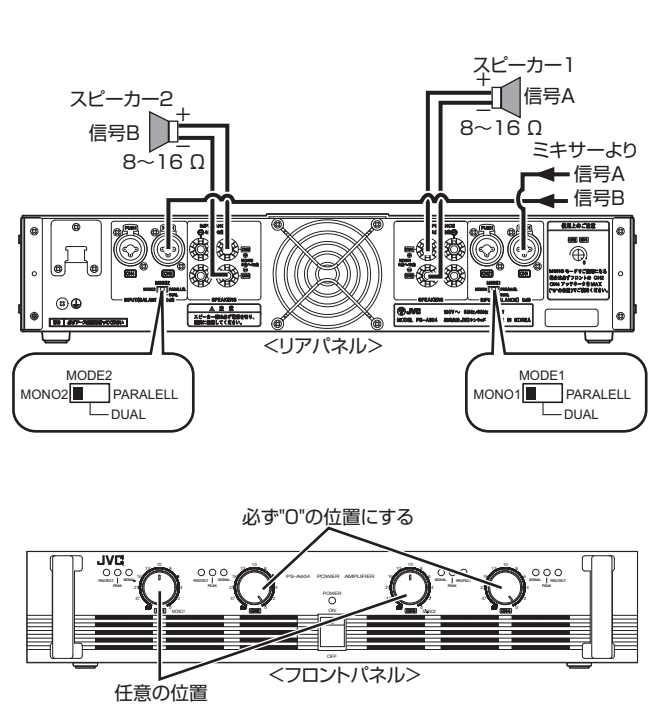
① 4CH 入力、4CH 出力の場合



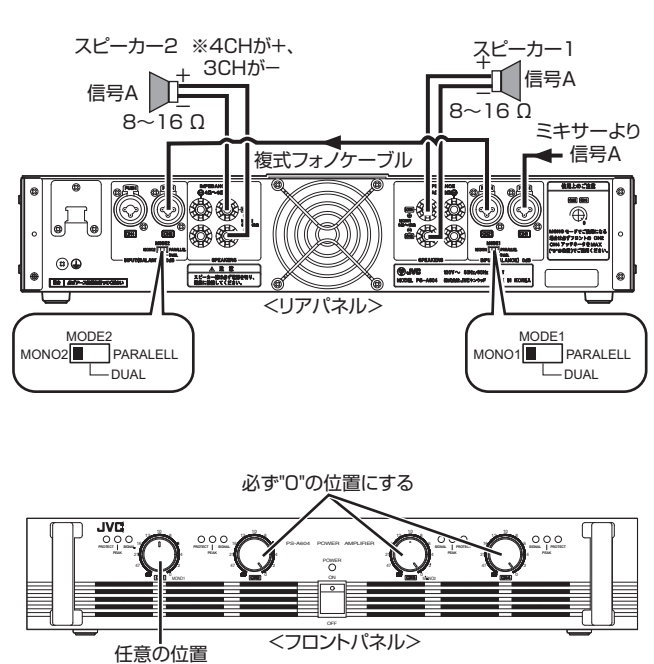
② 1CH 入力、4CH 出力の場合



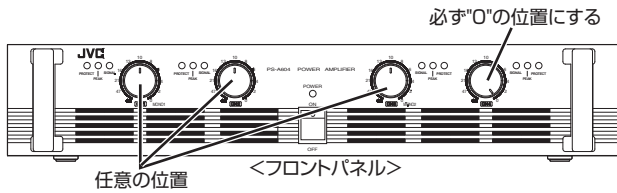
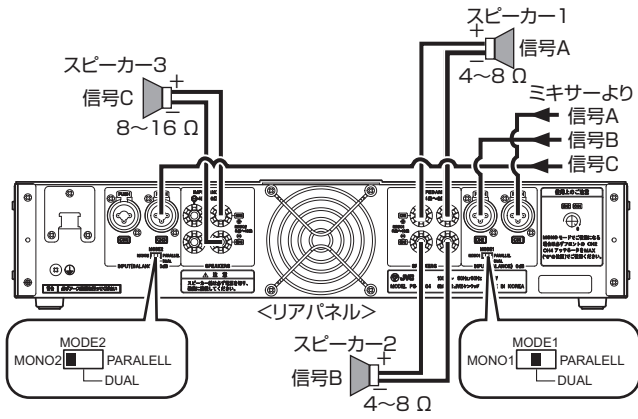
③ 2CH 入力、2CH 出力の場合



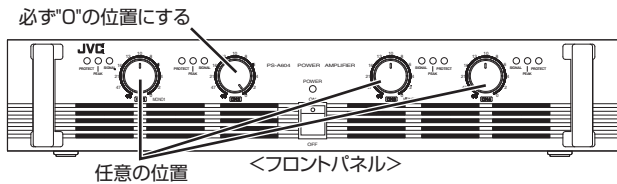
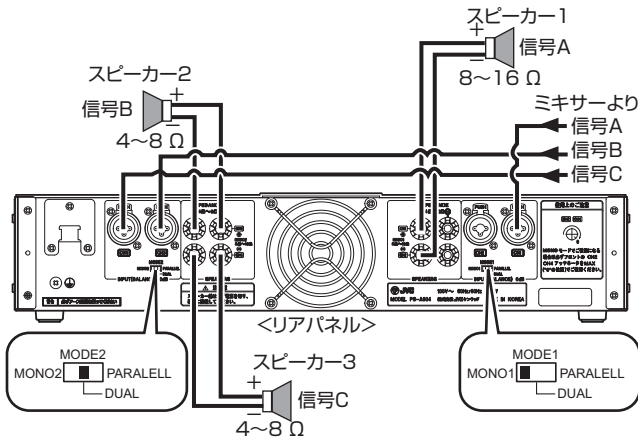
④ 1CH 入力、2CH 出力の場合



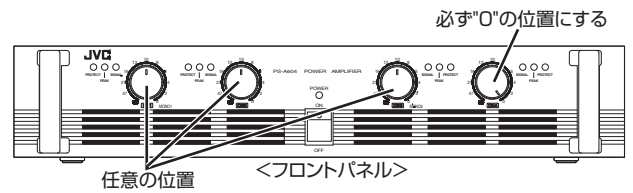
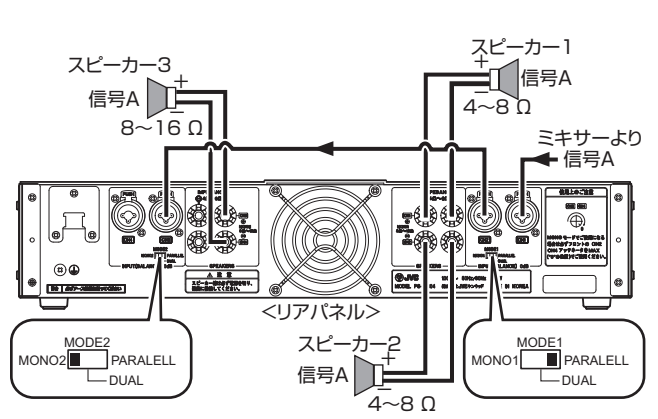
⑤ 3CH 入力、3CH 出力の場合 (1)



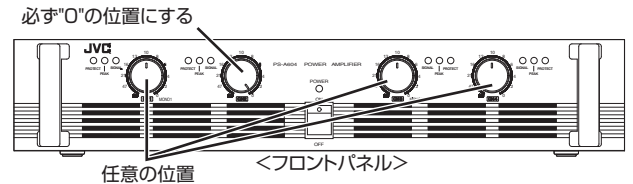
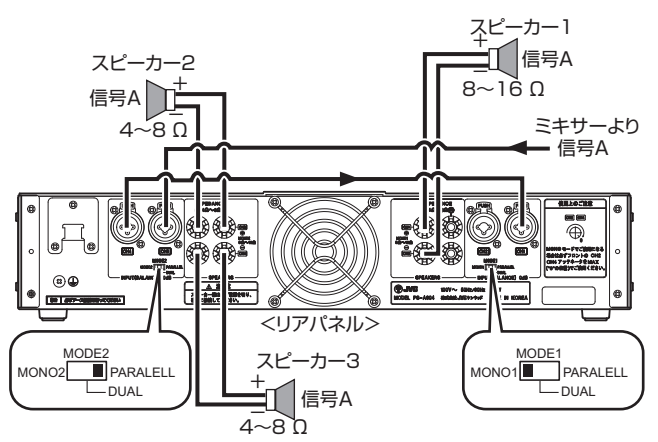
⑥ 3CH 入力、3CH 出力の場合 (2)



⑦ 1CH 入力、3CH 出力の場合 (1)



⑧ 1CH 入力、3CH 出力の場合 (2)



ラックへの組み込みについて

設置上のご注意

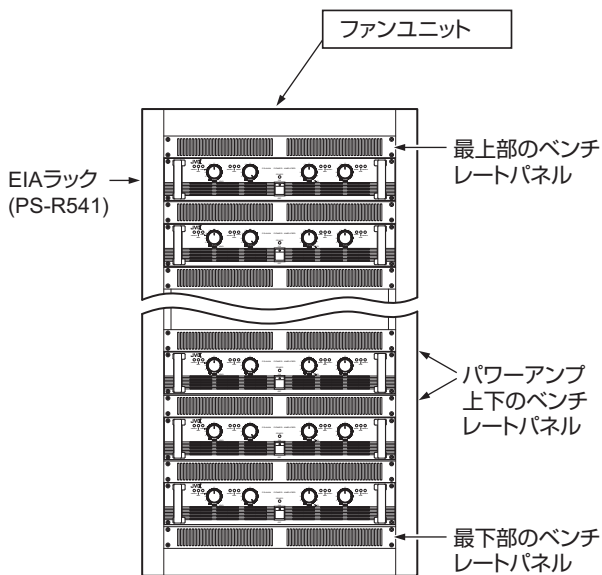
製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産の損害を未然に防止するために本文をお読みいただき、次の条件で設置をお願いします。

ご注意:

- 本機の放熱を妨げると故障の原因となることがあります。

■ ラックで使用する場合

- ラックに組み込む場合、放熱効果をよくするため本機 1 台に対して 1U (約 44 mm) 以上のベンチレーションスペースを上下に取ってください。
EIA ラック (PS-R541) などを使用する場合は、ベンチレートパネル (PS-RU01V) を使用してください。また、ラックの最上部と、最下部にもベンチレートパネルを取り付けてください。
- 3台以上で使用する場合、ファンユニットを取り付けてください。



■ 棚置きで使用する場合

- 棚置きで使用する場合、必ずフットを取り付け、側面と上面 5 cm 以上、裏側 10 cm 以上の隙間を取り、放熱のために空気の流通をよくするようにしてください。
- 重ねて置くときは、フットを付けた状態で、2 台までにしてください。2 台重ねる場合は、上面の隙間を 5 cm 以上あけてください。

ご注意:

- EIA ラック (PS-R541) を使用される場合、十分な放熱効果を得るためにファンユニット (PS-RU40 または PS-R413B) をラック上面内側に必ず取り付けてください。
取付方法の詳細につきましては、PS-RU40 または PS-R413B の [取扱説明書] をご覧ください。
- パワーコントローラー (PS-P32B/H) への本機の接続台数のめやすは、AC アウトレットの CN-P2 および CN-P3、CN-P4 にそれぞれ 2 台まで、最大 5 台です。
- システムラック (PS-R30) に本機を組み込む場合、本機を含め各ユニットの消費電力の合計が 800W を越えないように接続してください。この場合、システムラック (PS-R30) に組み込むことのできる台数は、2 台までです。

[参考] ファンユニット取り付け台数のめやす

- 本機 8 台までは、ファンユニット (PS-R413B) を 1 台。
- 本機 9 台から 17 台までは、ファンユニット (PS-R413B) を 2 台。
- 本機 18 台に対して、ファンユニット (PS-RU40) を 1 台。

ラックマウント補助金具を使用して取り付ける

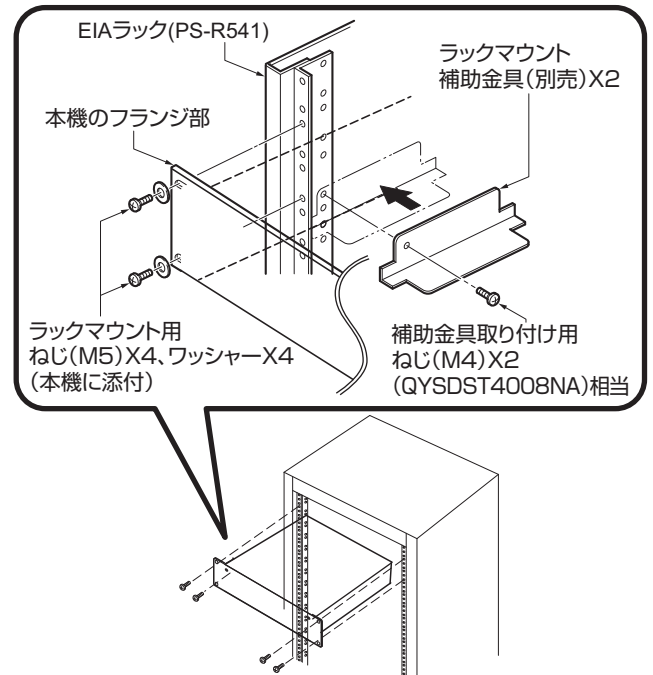
ラックマウント補助金具（別売）を使用して、本機を EIA ラック（PS-R541 / PS-R40 / PS-R30）に組み込む場合、ラックマウント補助金具（別売）をねじ（M4）で取り付けてからラックへ組み込みます。

ご注意：

- ラックマウント補助金具（別売）の購入については、お買い上げの販売店または最寄りのご相談窓口にご相談ください。

ラックマウント補助金具（品番：SS410739-012）

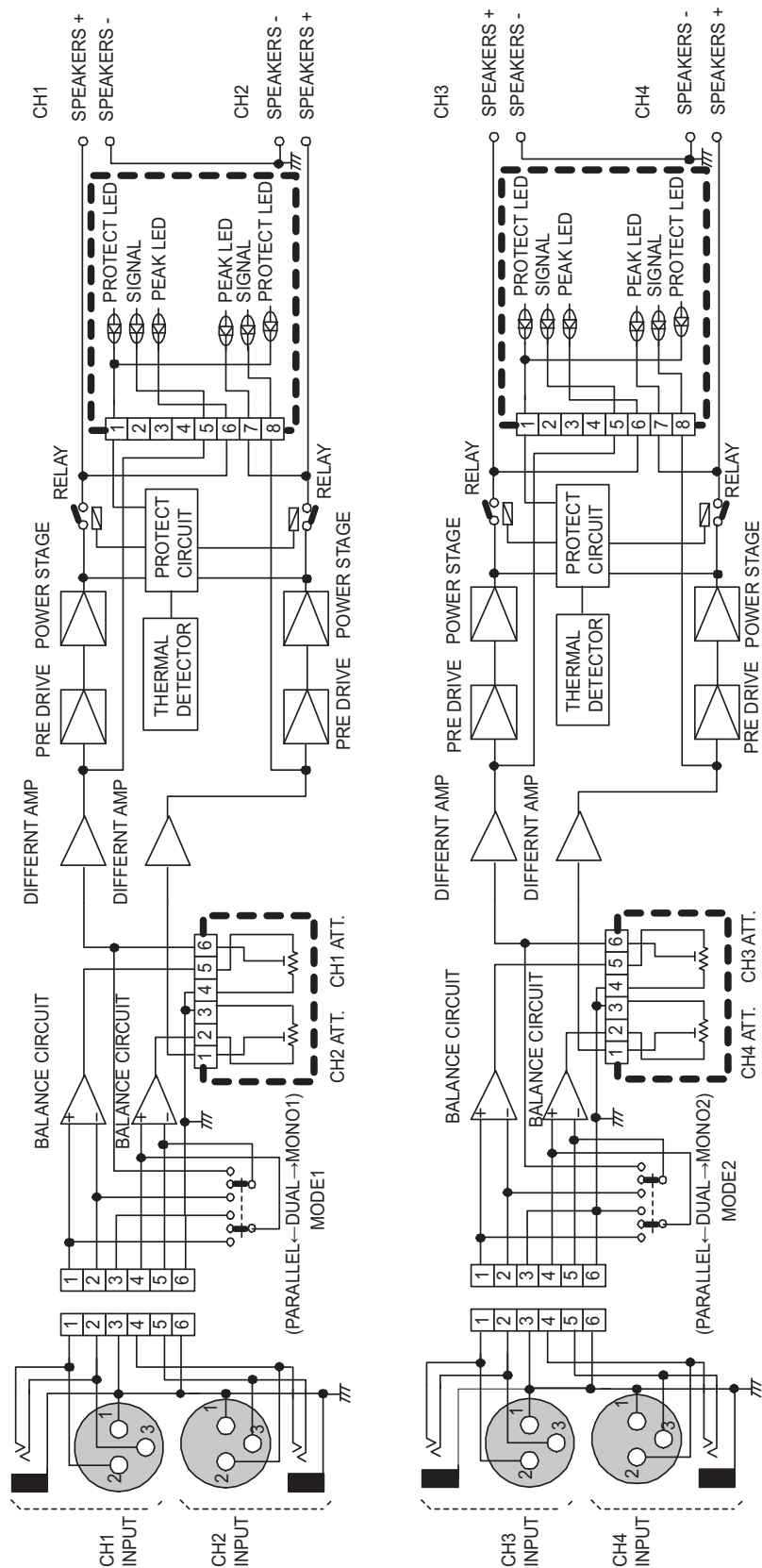
- 本機のフランジ部前側の手掛けは、ラックマウントされている本機を引き出すための簡易用の手掛けです。本機の運搬など、他の目的で使用しないでください。



困ったときは

症状	原因	処置	参照ページ
電源が入らない	電源コードが抜けている。	アース接続後に電源コードを接続してください。	—
音が出ない ([SIGNAL] 表示ランプが点灯していない)	信号ケーブル、スピーカーケーブルが抜けている。 入力アッテネーターが“∞”の位置（絞りきり）になっている。	電源を切った状態で入力端子、スピーカー出力端子のケーブルを接続してください。 フロントパネルの入力アッテネーターを調整してください。	8 ページ 7 ページ
音が出ない ([PROTECT] 表示ランプが点灯している)	ヒートシンク温度が 100 °C を超えている。 アンプ出力に DC（直流）が ± 2 V 以上重畳されている。	アンプ前後の通風孔がふさがれていないか確認し、アンプ周囲に隙間を確保してください。 アンプが故障しています。お買い上げ販売店にご連絡ください。	4 ページ —
音が出ない ([PEAK] 表示ランプが点灯している)	スピーカー出力が短絡している。 スピーカー負荷がアンプ能力を超えている。	スピーカーやスピーカーコードの配線を確認してください。 スピーカーのインピーダンスを確認してください。 ● DUAL、PARALLEL モード使用時：4 Ω ~ 8 Ω ● MONO モード使用時：8 Ω ~ 16 Ω	9 ページ 8 ページ
音が出ない (すべての表示ランプが点灯している)	トランス温度が 150 °C を超えている。	電源スイッチを“OFF”にし、機器の温度が下がってから電源を“ON”にしてください。 フロントパネルの入力アッテネーターで音量を下げてください。	7 ページ
音がひずむ	音量が大きすぎる。 スピーカー負荷がアンプ能力を超えている。 PARALELL モードまたは MONO モードで CH2 入力端子、CH4 端子に信号を入力している。	フロントパネルの入力アッテネーターで音量を下げてください。 スピーカーのインピーダンスを確認してください。 ● DUAL、PARALLEL モード使用時：4 Ω ~ 8 Ω ● MONO モード使用時：8 Ω ~ 16 Ω CH2 入力端子および CH4 入力端子に信号を入力しないでください。	7 ページ 8 ページ 8 ページ
MONO モードのときに音が小さい	CH2 と CH4 の入力アッテネーターが、“0”以外の位置になっている。	MONO1 モードのときは CH2、MONO2 モードのときは CH4 の入力アッテネーターを“0”の位置（時計方向に回しきり）に設定してください。	7 ページ

ブロックダイアグラム



保証とアフターサービス

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店または別紙の「業務機器ご相談窓口案内」をご覧ください。最寄りの弊社ご相談窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料で修理いたします。

サービス窓口

- 下記 URL をご覧ください。
<http://www3.jvckenwood.com/pro/service.html>
- カスタマーサポートセンター (045-939-7320)

サービスについてのお問い合わせ先

修理・保守・設置工事については、お買い上げ販売店または最寄りのサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、または最寄りの弊社ご相談窓口にご連絡ください。

品名	: パワーアンプ
品番	: PS-A604
お買い上げ日	:
故障の状況	: 故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所	:
お名前	:
電話番号	:

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

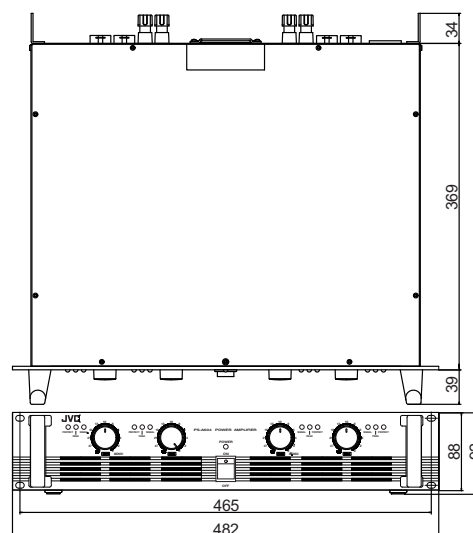
仕様

定格出力	: 4チャンネル 40 W × 4 (1 kHz、8 Ω) 60 W × 4 (1 kHz、4 Ω) 2チャンネル 120 W × 2 (1 kHz、8 Ω)
全高調波歪率	: 0.1 % 以下 (1/2 定格出力時)
周波数特性	: 20 Hz ~ 20 kHz (+0.5 dB / - 1.5 dB) (8 Ω、1 W 出力時)
クロストーク	: - 80 dB 以下 (1 kHz、8 Ω、1/2 定格出力時)
S/N 比	: 100 dB 以上 (DIN AUDIO)
入力感度	: 0 dB (0 dB = 0.775 Vrms)
入カインピーダンス	: 20 kΩ 以上 (電子平衡)
電源	: AC100 V、50 Hz / 60 Hz
消費電力	: 300 W (電気用品安全法)
最大電流	: 7.0 A (定格出力時)
質量	: 11.5 kg
仕上げ	: フロントパネル : 黒色半艶塗装 トップカバー : 黒色半艶塗装

■ 添付物・付属品


取扱説明書	1
保証書	1
ねじ (M5) (ラックマウント用)	4
ワッシャー (ラックマウント用)	4

■ 外形寸法図 (単位 : mm)



※ 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

JVCケンウッド
カスタマーサポートセンター

 0120-2727-87

携帯電話・PHS・一部のIP電話・FAXなどからのご利用は

電話 (045)450-8950 [代表]

FAX(045)450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12